

神戸製鋼グループの森林保全活動やビオトープを通じた 生物多様性の保全及び環境学習の場の提供



活動の場所

KOBELCOの森：三木山森林公園
ECOWAYの森：六甲山・油コブシ
灘浜サイエンススクエアのビオトープ、緑地



活動目的

森林整備活動のボランティア活動やビオトープ等を活用した自然教室を通じて自然に親しみその大切さや慈しむ心を育むとともに、生物多様性の保全を推進しています。

活動内容

神戸製鋼グループでは、2010年12月に「コベルコ生物多様性指針」を策定し、生物多様性の保全や貢献に取り組んでまいりました。

【主な活動】

1. 森林整備活動

① KOBELCOの森

KOBELCO森は、公益財団法人 兵庫県緑化推進協会が推進する「企業の森づくり」に参画し、兵庫県立三木山森林公園内の山林で森林整備活動に取り組んでいます。

② ECOWAYの森

ECOWAYの森は、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所が推進する「六甲山系グリーンベルト整備事業」に森の世話人として参画し、六甲山・油コブシにて森林整備活動に取り組んでいます。

2. 灘浜サイエンススクエアのビオトープ

『灘浜サイエンススクエア』は、「製鉄・発電・エネルギー・環境」をテーマに、遊びながら現象の不思議さを体感し科学に対する好奇心を育む場として、設立した施設です。緑地にはビオトープやミニ水田、イシガメ飼育エリアが併設されています。さらに、緑地では小規模ですが貴重な植物の育成エリアを設けています。

施設のホールを活用することで、知識だけでなく、自然を体験することでより深い学びにつなげています。NPO法人「六甲山の自然を学ぼう会」の全面的な協力をいただき、定期的に自然教室等を開催し、子供や大人向けの学習の場を提供しています。



▲ 下草刈り (KOBELCOの森)



▲ 植樹 (ECOWAYの森)



▲ 灘浜サイエンススクエア ビオトープでの子供自然教室(左) 及びミニ水田での稲刈りの様子(右)

PRしたいポイント

- ・森林整備活動では行政やNPOと連携し取り組んでいます。
- ・当社が主宰する小・中・高生を対象とした「森」をテーマにした創作童話のコンテスト「森の童話大賞」とコラボし「KOBELCOの森」で森のプロフェッショナルと一緒に学ぶイベントも開催しています。
- ・ビオトープは、都会の真ん中にあり、自然と身近に触れ、学ぶ場所となっています。

活動効果、今後の展開 等

- 森林整備活動では森の整備、保全だけでなく、学習の場として活用し自然に関心を持つ人を増やしていきます。
- 灘浜サイエンススクエアについては、「自然共生サイト」への登録に向け申請いたします。